

ねえねえ、聞いちゃってん！
ネットの日
毎月 第3月曜日 10:30 ~ 12:00
(ネット・宗像事務所)
気になっている あんなこと、
こんなこと、おしゃべりしましょ！

参加申し込みは
いりません
出入り自由です
お気軽にご参加下さい
休日の場合も開催
しています



宗像市議会議員
田中 るみ子



ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

Citizen Politics Network of Fukuoka

ふくおか市民政治ネットワークは、34 年前から女性を議会に送り出し、生活者の視点で暮らしの課題を解決する活動を続けている市民の政治団体です。

宗像市では 1991 年以来 7 人の議員を出しています。

やっぱり
生活って
政治！

災害の備えは 自助・共助・公助そして近助で

災害時に自分たちの命や暮らしを守るためには「自助・共助・公助」の取り組みがあります。しかし、市内全域など大きな災害の場合は、公助だけでは対応できません。そのため、災害の発生直後では、自助や共助が重要となります。



自助: 水や食料など備蓄。家具の転倒防止対策や避難経路の確認。避難するかの判断。

共助: 近隣住民同士で安全確認。避難が困難な人の避難誘導。

公助: 自治体などの支援。救助活動や支援物資の提供。

宗像市には、各自治会に**自主防災組織**があることを、知っていますか？

自分一人では対処しきれない状況を、地域やコミュニティが支援し協力することで、災害の被害を最小限におさえることができます。例えば、冠水しやすい地域の場合、事前に土のうを公民館に準備しておき、必要な家庭に設置していく。また、高齢者が多い地域では、歩いて行ける地域の公民館を避難所として開けるなどです。それぞれの地域の特性に応じた対策ができるのが、**自主防災組織**です。

自主防災組織の取り組みを充実したものにし、災害時に生かすのは、**地域のみなさん**です。まずは、ご近所さんとの顔の見える関係づくりからではないでしょうか。

避難所の問題としてよく聞くのが、子どもが泣くと「うるさい」と非難の声があがることです。確かに、知らない子どもが泣いていたら、うるさいと思うかもしれません。しかし、近所の〇〇ちゃんが泣いていたらどうでしょう？「どうかしたのかな。眠いのかな」と心配するのではないのでしょうか。また、近所に高齢の独居の方がいるのを知っていたら、避難するときに声をかければ、逃げ遅れなどを防げます。これが、**近助(きんじょ)**です。

今回の災害で自助ではできなかったことを、**自主防災組織**に相談すると、より地域にあった取り組みが検討できます。災害の備えを見直してみませんか？

ちょっと聞いて・・・

先日、近くの公民館で市の職員による「宗像版公共ライドシェア」の説明を聞きました。

若い人はホームページなどで調べて、新しいことでもすぐ理解できるかもしれませんが、高齢になるとそういったことが難しくなります。

資料を見ながら説明を聞き、わからないことを質問し、やっと理解できました。実証運行期間中は決まった曜日にしか利用できませんが、私も利用してみたいと思いました。

まだ車を運転しているから関係ないと思っている人もいると思いますが、今から時々利用し、意見を言っていけないと、実際に利用する時に使いにくいことがあります。

地域から要望があれば、市の職員が説明に来てくれます。利用予約のためのアプリの使い方も説明してもらえます。

みなさんいかがですか？

(S)

サポーター会員募集！(年会費 1500 円)

サポーター会員の方には、議会のお知らせや学習会等のご案内をお届けします。
会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。
郵便振替口座 記号 01730-2 番号 59371
ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

〒811-3431 宗像市田熊2-1-1 TEL/FAX 0940-37-0700

Email:munakata@fnet.gr.jp HP:http://www.fnet.gr.jp/munakata

■発行責任者:笠井香奈枝 ■代理人(宗像市議会議員):田中るみ子



ホームページ